

報告書抄録

ふりがな	びわこせいなんぶのこてい・こがんいせき							
書名	琵琶湖西南部の湖底・湖岸遺跡							
シリーズ名	琵琶湖開発事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書							
シリーズ番号	8							
編著者名	伊庭 功・小竹森 直子・松井 章・丸山 真史・植田 弥生 (パレオ・ラボ)							
編集機関	滋賀県教育委員会事務局文化財保護課 / 財団法人滋賀県文化財保護協会							
所在地	滋賀県大津市京町4丁目1番1号 / 滋賀県大津市瀬田南大萱町1732-2							
発行年月日	平成20年(2008年)3月							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		世界測地系		調査面積	調査期間	調査原因
		市町村	遺跡番号	北緯	東経			
まのふなだまり 真野舟溜	おおつしまの 大津市真野 地先	25201	—	35度 7分56秒	135度55分35秒	200m ²	1986	水位低下対策浚 渌工事に伴う事 前調査
うきみどういせき 浮御堂遺跡	おおつしまの 大津市堅田 地先	25201	046	35度 6分34秒	135度55分16秒	1,775m ²	1981～1984	水位低下対策補 償工事に伴う事 前調査
あのをいせき 穴太遺跡	おおつしまの 大津市穴太 一丁目	25201	119	35度 3分21秒	135度52分12秒	370m ²	1991～1982	農業用水補償工 事に伴う事前調 査
からさきいせき 唐崎遺跡	おおつしまの 大津市唐崎 地先	25201	132	35度 2分 5秒	135度52分12秒	3,548m ²	1988～1990	水位低下対策浚 渌工事に伴う事 前調査
おおえこていせき 大江湖底遺跡	おおつしまの 大津市蘆野 浦・玉野浦 地先	25201	214	34度59分22秒	135度54分30秒	1,140m ²	1982～1986	水位低下対策浚 渌工事に伴う事 前調査
所収遺跡名	種別	主な時代		主な遺構	主な遺物	特記事項		
真野舟溜	その他	中世～近世		二次堆積	近世陶磁器	周知の埋蔵文化財包蔵地としては未登録		
浮御堂遺跡	その他	平安時代～近世		遺物包含層	土器・土錘・和 鏡・銭貨・動物 遺存体等	動物遺存体同定		
穴太遺跡	その他	平安時代		石積遺構・遺 物包含層	瓦・土師器	穴太廃寺関連遺構		
唐崎遺跡	その他	古墳時代～近世		遺物包含層・ 落込み・溝等	縄文土器・土師 器・土錘・石製 品・木製品・動 物遺存体等	動物遺存体同定・木製品樹種同定		
大江湖底遺跡	その他	縄文時代		遺物包含層	縄文土器・石器			
要 約	<p>浮御堂遺跡では、湖西南部における平安時代から近世までの土器群組成とその変遷の特徴が明らかになったと同時に、他地域産の土器類・墨書土器等、堅田の地域性を表す具体的な資料を提示している。また、和鏡・銭貨・観音像等の祭祀遺物が出土しており、平安時代以降の水と信仰とのあり方についても、その一端が明らかになった。唐崎遺跡では、「七瀬ノ蔵所」に関する明確な遺物・遺構は確認できなかったが、縄文時代前期初頭から近世までの良好な残存状態の遺物が多量に出土しており、近辺に安定した遺跡が展開していたことが十分推察できる。穴太遺跡において検出した石積遺構については、その位置等から穴太廃寺の寺域北限に関連する遺構であると考えられる。極めて少量の遺物しか出土しなかったが、大江湖底遺跡の調査からは、隣接する粟津湖底遺跡や赤野井湾遺跡と比較すると地理的条件的に縄文時代前期における利用頻度はかなり低いと考えられる。</p>							